

体系図（小牧市教育大綱・小牧市教育振興基本計画）

【基本理念】

郷土の歴史を礎に、市民とともに愛と夢、生きる力を育みます。

【小牧市が目指す人間像】

- 自他を愛する心や、国及び郷土を愛する心を大切にできる人
- 夢を持ち、志を抱いて、社会の発展に貢献できる人
- 主体的に学び・考え、社会の中でたくましく生きることのできる人



小牧市は市制60周年にあたる平成27年に、「こども夢・チャレンジNo.1 都市宣言」を行いました。まち全体で、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援するとともに、こどもを中心に市民がつながるまちづくりを進めます。

小牧市教育振興基本計画 37 の施策

◎基本目標を達成するために行う事業を「施策」として整理し、37の施策を位置づけた。
◎施策ごとに現状・課題を洗い出し、具体的な取組として掲げた内容を展開する。

愛	夢	生きる力
基本目標1 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実	1 確かな学力の定着を目指す「学び合う学び」を基本とした授業の推進（15p） 2 地域の特徴を生かした学校教育の推進（18p） 3 未来に必要とされる人材の育成（20p） 4 特別支援教育の推進（22p） 5 外国にルーツを持つ児童生徒への教育の推進（24p）	
基本目標2 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成	6 他者とのふれあいを通じた自己肯定感の育成（26p） 7 道徳心・社会性の育成（28p） 8 こどもの読書活動の推進（30p） 9 こどもの体力の向上・健やかな体づくり（32p） 10 学校給食や授業を通じた食育の推進（33p）	
基本目標3 未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり	11 就学や進学に対する支援（34p） 12 教職員等の資質や指導力の向上（36p） 13 総合的な子育て・教育を支える環境の整備（38p） 14 将来を見据えた学校施設づくり（39p） 15 地域と連携した安全な環境づくり（41p）	
基本目標4 家庭・地域・学校との連携による教育の推進	16 成長の基礎を支える幼児教育・保育の推進（42p） 17 家庭教育の育みへの応援（43p） 18 地域でこどもを育て意識の醸成（44p） 19 学校等と地域との連携強化（46p） 20 青少年健全育成活動の展開（47p）	
基本目標5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり	21 学習機会の提供と学習環境づくり（48p） 22 学びの成果が活用できる仕組みの充実（51p） 23 図書館サービスの充実（53p） 24 生涯学習活動を支える体制の整備（55p）	
基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開	25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進（57p） 26 こどものスポーツ活動の充実（59p） 27 競技スポーツの振興（60p） 28 市民のスポーツ活動を支える環境整備（61p）	
基本目標7 市民がともしつくる文化・芸術の振興	29 文化・芸術の振興機会の充実（63p） 30 文化・芸術活動への参加促進（65p） 31 市民の創作活動への支援（67p） 32 文化振興を支える体制の整備（69p）	
基本目標8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承	33 文化財の保護（70p） 34 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用（71p） 35 史跡・牧山の整備・活用（72p） 36 地域資源を生かしたふるさと学習の推進（73p） 37 市民との協働や大学と連携した歴史・文化の継承活動の展開（74p）	

目指す教育の姿（基本理念・目指す人間像）

小牧市教育大綱

【基本理念】

郷土の歴史を礎に
市民とともに
愛と夢、生きる力
を育みます。



Komaki

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち
小牧市

基本理念

- 郷土の歴史を礎に、市民とともに愛と夢、生きる力を育みます。

小牧市が目指す人間像

- 自他を愛する心や、国及び郷土を愛する心を大切にできる人
- 夢を持ち、志を抱いて、社会の発展に貢献できる人
- 主体的に学び・考え、社会の中でたくましく生きることのできる人

これまでの主な取組

緑フォント→学校教育
桃フォント→社会教育

国の取組

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」施行

- 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることが規定

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」答申

- 「実際の社会や生活で生きて働く知識・技能」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」の三つの資質・能力として整理した

「学習指導要領」の改訂

- 幼稚園等就学前教育・保育については平成30年度から、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面实施された

「社会教育法」の改正

- 地域住民が学校と連携・協働して子どもたちの学びや成長を支えることが新たに規定された

「第3期教育振興基本計画」策定

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」答申

- 社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが一層重要であるとし、「開かれ、つながる社会教育」が提示された

「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」答申

- 教職員の勤務時間管理の徹底や業務の明確化・適正化等、学校における働き方改革の総合的な推進についての提言がされた

平成
27

平成
28

平成
29

平成
30

平成31
令和元

小牧市の取組

いじめ問題対策委員会の設置

- 市内小中学校において、いじめ防止等のための対策を実行的に行うためのもの

特色ある学校づくり

- H15年度から実施している「新しい学校づくり事業」を新たに、「特色ある学校づくり事業」を実施

宇宙航空教育活動に関する協定の締結

- 本市教育委員会とJAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）との間で、宇宙航空教育活動を協働して推進するための協定を締結

文化財団設立

- さらなる文化の振興を図ることを目指し「一般財団法人こまき市民文化財団」を設立

学習支援事業「駒来塾」

- 教員OBなど地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援活動を実施

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）

- これまでの学校評議員会（H13～29年度）を発展的に解消し、新たに学校運営協議会を設置

日本語初期教室室長を配置

- 日本語初期教室のマネジメント機能強化のため

小牧山の整備・活用

- れきしるこまき（小牧山城史跡情報館）開館。「史跡小牧山保存活用計画」を策定。

幼児教育・保育の無償化

- 10月から幼稚園・保育所・認定こども園等を利用する3歳から5歳までのこどもたちの入園料・保育料が無償に（幼稚園は月額上限25,700円）

これまでの主な取組

緑フォント→学校教育
桃フォント→社会教育

国の取組

「令和の日本型学校教育」答申

- ・全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びとし、学習指導要領を着実に実施することが示された

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）」可決

- ・学校園所等で、医療的ケア児に対する適切な支援を行う他、必要な措置を講ずることとされた

「COCOLOプラン」策定

- ・不登校の児童生徒全ての学びの場を確し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
- ・心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
- ・学校の風土の「見える化」を通して、「みんなが安心して学べる」場所にすることにより、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプランをとりまとめた。

「第4期教育振興基本計画」策定

- ・予測困難な時代における教育が、社会を牽引する駆動力の中核を担う営みとして示された。

小牧市の取組

小学校外国語活動の推進

- 小学校で新学習指導要領が完全実施。5・6年生での外国語の教科化や、3・4年生での外国語活動の時間数増加に伴い、ALT（外国語指導助手）及び一人一台端末を効果的に活用した教育活動の充実

児童生徒1人1台端末の整備

- GIGAスクール構想を踏まえ、全小中学校で児童生徒1人1台端末を整備

中央図書館開館

- 旧図書館本館の老朽化に加え、資料の保管スペースや席数不足の問題に対応するため、小牧駅前に建設

SDGsに関する協定の締結

- 教育委員会と愛知教育大学との間で、こどもたちの夢への挑戦を応援し、未来につながるまちづくり、SDGsの実現をめざし、多様な分野で協力していくための協定を締結

施設予約システムの更新

- スマホなどからいつでも予約が可能に。また、クレジットカードによるオンライン決済にも対応。

学校給食費の無償化

- 第3子以降小中学生の給食費無償化を実施

歴史館の展示改装

- 戦国時代の小牧山を中心とした展示内容に改装し、「小牧山歴史館」としてリニューアルオープン

学校給食費の無償化

- 第2子中学生の給食費無償化を実施

10年間の教育費の推移

一般会計総額と教育費、及び教育費割合の推移



主なポイントと分析

令和2年度の増の要因：

- 図書館建設工事費（約33億円）や小牧南小学校改築工事費（約12億円）などの影響で大きく増えている

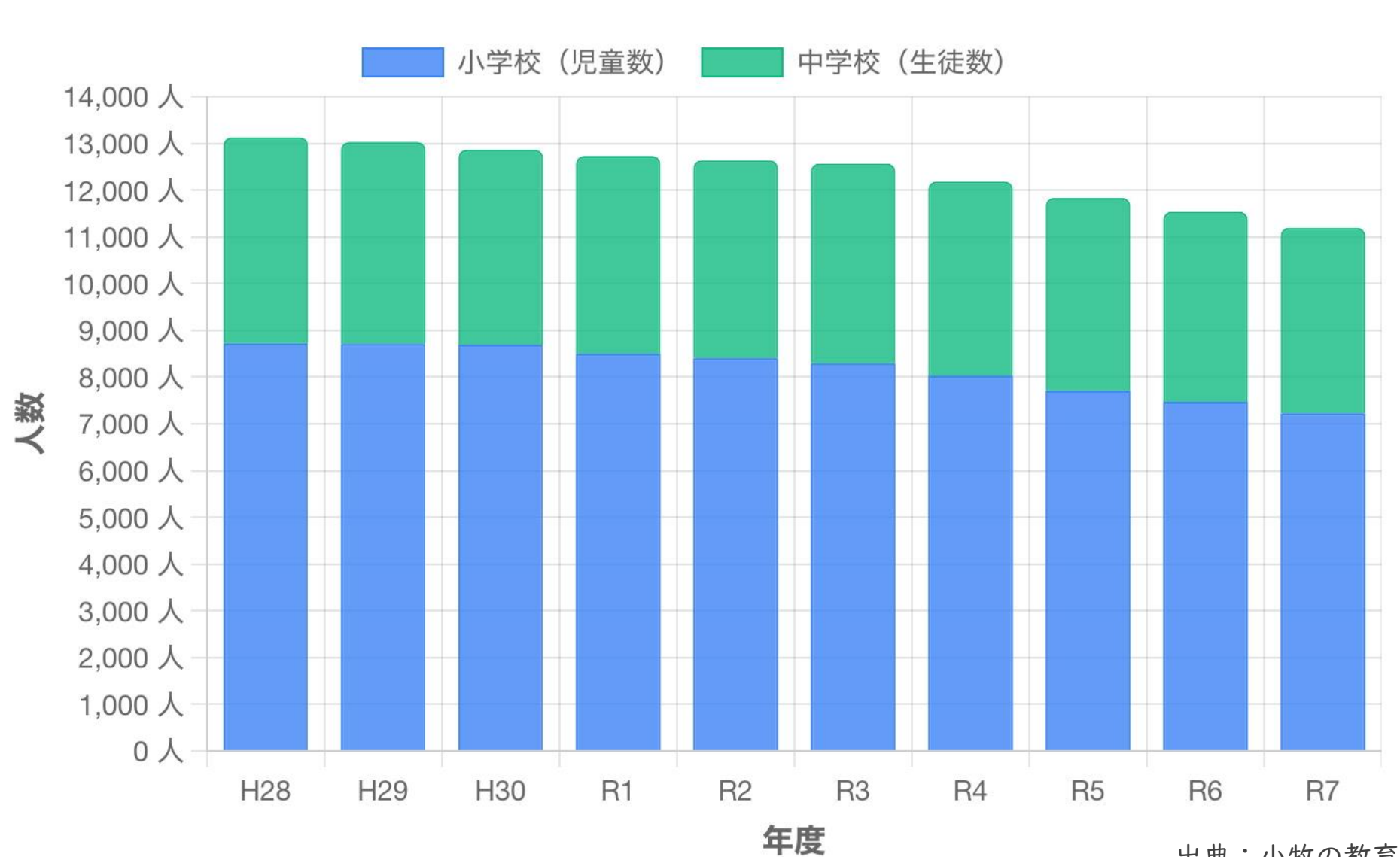
割合の変動：

- 一般会計に占める教育費の割合は、概ね15～16%で推移
- 民生費などの増加が大きいため、割合としては顕著な増加は見られない

教育費の推移：

- 令和2年度の増加を受けて令和3年度に一旦減少しているが、全体としては微増傾向にある

10年間の児童生徒数の変化



出典：小牧の教育

(人)		
年度	児童数	生徒数
H28	8,721	4,408
H29	8,712	4,317
H30	8,695	4,171
R1	8,501	4,230
R2	8,407	4,233
R3	8,292	4,277
R4	8,029	4,158
R5	7,710	4,124
R6	7,472	4,066
R7	7,226	3,970